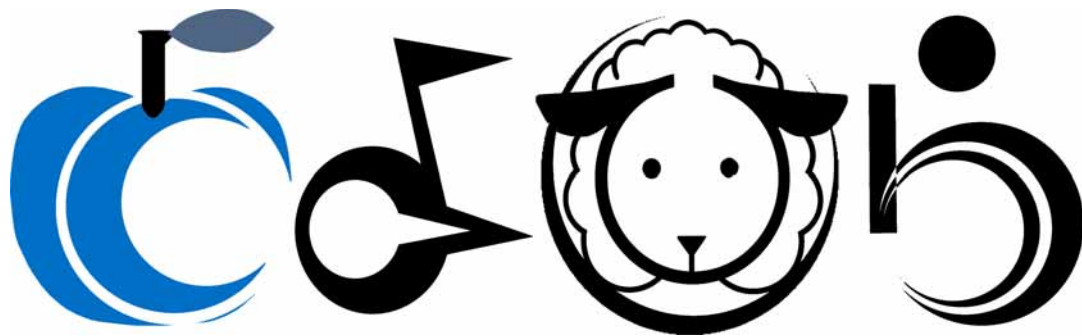




編集

豊平区役所総務企画課広聴係
〒062-8612

豊平区平岸6条10丁目

☎822-2407 ㊚813-3603

とよひら元気印 (第90回)

さ さ き こ よ り
佐々木 小世里 さん

イラストレーター 南平岸在住



時代の空気感をイラストにのせて

大学では美術を専攻し、時間をかけて立派な作品を作るため、絵には熟練や忍耐が必要だったといいます。結婚を機に専業主婦に。しかし、高等専門学校を目指す中学生にデッサンを教える機会があり、「ふと、私も水彩絵の具を使って動物の絵をさっと描いてみたんです。そうしたら、気楽に気ままに絵を描く楽しさを思い出しちゃって」と、イラストレーターになったきっかけを思い出します。

イラストの魅力は「その時代の空気感を組み込めること」。自分が感じた何げないもの、心を動かされたものに焦点を当てています。紙面のイラストはスペースが限られています。「伝えたいものを最近やっと絞れるようになりました。ちっちゃな世界に詰め込むのも楽しくて」。描きたいものがたくさんあって、選ぶのも大変そうです。

この仕事の魅力は「人との出会いをくれること」。資料を基にイラストを描く場合でも、デザイナーなどの関係者から新鮮なイメージを聞き取り、「見ないからこそ描ける世界」も見事に表現していきます。

新聞紙面で2年半にわたり連載を描き続けています（北海道新聞木曜朝刊「キラリ！見つけた」）。主に、道の駅やアンテナショップなどでリサーチし、実際に生産者を訪ねて取材します。「生産者の持つイメージを再構成して読み手に投げ掛け、その読み手が次のイメージを膨らませます。そして、実際に食べに行ったり、触れに行ってもらったり。こういう、何かが生まれていくような感覚が好きです」。一主婦の目線で何回も食べたいもの、居心地の良いスポットをこれからも伝えていきたいと抱負を語ります。

幼少期に道北の中頓別町で過ごした「雪、空、原っぱ」が原風景。小さな町では、たった一人の移住者が町の空気を変えることもあると感じています。「それぞれのマチの良さがふわっと浮き上がってくるような、これまでとは違った北海道のイメージをつくっていったらいいな」。これからもマチの空気をイラストにのせていきます。

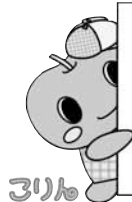


▲「稲穂にかかる虹」

▼「クマオンセン」



豊平区ホームページ「夢ひらく 花ひらく とよひらく」
<http://www.city.sapporo.jp/toyohira/>
豊平区ラジオ広報番組「豊平インフォメーション」
FMアップル76.5MHz 毎週木曜日15時～



豊平区の人口・世帯数

人口	218,136人	(+203)
男	101,431人	(+79)
女	116,705人	(+124)
世帯数	113,551世帯	(+188)
(10月1日現在。()内は前月比)		

